

提出日：平成 21年1月9日

第 1 回情報活用型授業を深める会（ジョーカーの会）参加報告書

鈴木 大輔（東北大学大学院情報科学研究科 教育研究支援者）

タイトル・場所
第 1 回情報活用型授業を深める会（ジョーカーの会）（せんだいメディアテーク）
日時
2008 年 11 月 29 日（土）15 時～
参加者
関本英太郎（教授）・窪俊一（准教授）・篠澤和久（准教授）・邑本俊亮（准教授）・鈴木大輔（教育研究支援者）・韓放（情報科学研究科博士課程 1 年）
目的
情報活用型授業に関する現場での取り組みや最新の動向について勉強するため
概要および成果
概要 <p>東北学院大学稲垣忠准教授が世話役となり、宮城県内の小中学校の教員、大学教職員および大学生 40 名ほどが参加した。NHK エデュケーショナルの桑山裕明氏、宮城県栗原市立大岡小学校の成瀬啓教諭から情報活用に関する話題提供があった。</p> <p>桑山裕明氏からは、「伝える極意」という NHK テレビ番組の制作や取材を通して得られた教授方法や伝える方略についての話があった。具体的には、伝えるためにもロジックがあり、子供たちにある程度の型を教えることが重要である点、伝えるための要素として、「ねらいを定める力」、「情報に共感し自分を振り返ることができる力」、「興味や論理性を持続させながら、わかりやすく構成できる」の 3 つの要素が重要である点が述べられた。その後、「たほいや」という表現力を身につけるゲームを実際に行った（フジテレビ出版 1993 参照）。</p> <p>成瀬啓教諭からは、「九九を作ろう」という単元の中で、どのように ICT を使って授業を展開すべきか検討が行われた。具体的には、子供たちが九九に関する問題をグループごとに考え、それらの解答を ICT ツールを使って他の子供たちに説明する授業が想定された。子供たちが ICT を使って他の子供たちに説明する際に、どのような説明方法や表現が評価に値するのかに焦点が当てられ、検討が行われた。</p>
成果 <p>桑山裕明氏の報告からは、授業に人気がある教員がどのような伝え方を行っているのか、その極意について知ることができ、非常に有意義であった。さらに成瀬啓教諭の話題提供からは、現在の小学校の授業内で ICT ツールをどのように活用しているのか垣間見ることができ、さらに情報活用能力をどのように育成しているのか、他の教員との意見交換もでき、非常に有意義であった。</p>

